

-----6月28日-----

今週のアウトルック (6/28 ~ 7/2)

先週はサッカーの世界カップでお休みするトレーダーが多いため、若干の円安方向を予想していたのですが、予想に反した動きとなってしまいました。

「ワールドカップの影響は、欧州だけ、サッカー好きの少ない米国のトレーダーには関係ない」という考え方が正しかったのかもしれませんが。

もう一点、米国の経済指標があまり良くなかった点も影響していると思います。米国経済に対する楽観視が少し修正されてきた感じもします。

ドル円は当面のサポートラインと考えられる、88円あたりに接近しつつあります。ここを抜けてしまうかどうか大きなポイントとなりそうですが、一気に抜けてしまうには材料不足の感じがします。NYダウによほど大きな動きがなければ、買い戻しから一度91円あたりまで反発する可能性が高いのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは88.8円から91.2円です。

ユーロ円は110円あたりのレジスタンスが、かなり強く働いているように思います。またユーロドルも、先週後半からは再び上昇トレンドを回復しているようで、春先からの急激なユーロ売りに対する買いも戻し基調がまだ続いている、と見るのが妥当ではないかと考えます。ドル円に大きな円高への動きがなければ、ユーロ円は113円あたりまでの戻し基調ではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは110円から113円です。

ポンド円は先週、円高基調というよりは、これまでの円安基調の小休止という見方が妥当なような気がします。また133円あたりで、強くサポートされた感じもあります。

今週は136円あたりまでの戻し基調から、ここをブレイクできれば一段のポンド高の可能性もあるように思います。

ポンド円の予想レンジは133円から139円です。

週末に行われたトロントでのサミットの影響もあるのではないかと、という考え方もあると思います。が、失望感からの売りを仕掛けるほど、逆に注目されていなかったのではないかと、という見方もできるように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。